

(家庭) 授業計画表

教科名	科目名	単位数	学年・講座	教科書名(発行所)
家庭	保育基礎	2	3年1組I型(選)	保育基礎(実教出版)
学習のアドバイス	1 日々の授業を大切に、ノートをきちんとまとめよう。 2 長期休暇等の課題(特にホームプロジェクト)は意欲的に取り組み、しっかりまとめよう。 3 保育実習では、今の自分にできることを見極めて積極的に交流しよう。 4 自分の行動を客観的に見つめ、子どものお手本として必要な能力や知識を身に付けよう。			
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけ、実習等を通して保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの身体的・精神的発達や保育に関して、関心をもち、それらを意欲的に学ぶ姿勢が見られるとともに、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。 	
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。				
	授 業 内 容	時間数	学 習 の ポ イ ン ト	
学 期	1章 子どもの保育 1節 保育の意義 2節 保育の方法 3節 保育の環境 ※キャラクター名札製作	10	○生活習慣形成の意義と重要性を理解し、生活習慣の自立のための手助けについて心がけることを考える。 ○保育の具体的な方法、しつけについて理解する。 ○乳幼児期に起こりやすい事故を調べ、どうすれば予防できるかを考える。	
	2章 子どもの発達 1節 子どもの発達特性 2節 子どもの体の発達 3節 子どもの心の発達 ※保育検定4級実技練習 ※児童館実習	10	○人の一生をライフサイクルとしてとらえ、それぞれのライフステージにおいてどのような発達をしていくのかを考える。 ○ビデオの視聴等により、周囲との関わり合いが情緒面・知的能力面を豊かにしてくれることを理解する。 ○乳幼児期の発達はめざましく、すばらしいことや、誤った対応は命に関わることなどを理解する。	
	<期末考査>	1		
	ホームプロジェクトの実施	6	○保育を取り巻く課題を見出し、解決するためにはどうすればよいか考え実践する。	

二 学 期	3章 子どもの生活 1節 子どもの生活と養護 ※離乳食・幼児食実習 2節 生活習慣の形成 3節 健康管理と事故防止	11	○大人自身のモデル的行動、肯定的な言葉の使用、禁止・注意におけるタイミングや明確さが重要であることを理解する。 ○調乳、離乳食、幼児食の実習を通して、乳幼児期の食生活の特徴を理解する。 ○乳幼児に適した被服についておむつの実験、食事用エプロン作り、実物見本等から考える。 ○乳幼児の健康を守るための保育者の役割を理解し、基本的な看護や自己の応急処置方を学ぶ。
	3章 子どもの文化 1節 子どもの文化の意義と支える場 2節 子どもの遊びと表現活動	15	○児童文化財に触れたり、伝統遊び・手作りおもちゃの製作実習を通して、子どもにとって遊びとは、また、その意義は何かを考える。
	<期末考査>	1	
	児童文化財の研究	5	○子どもの遊びの目的を考え、おもちゃを手作りする。
三 学 期	5章 子どもの福祉 1節 子ども観 2節 子どもの福祉 3節 子育て支援	4	○現在の保育をめぐる問題に関心を持ち、具体的な保育の原理を学ぶ。 ○子どもの成長発達には家庭保育と集団保育の両方が必要であることを理解し、実際に子どもと触れ合うことで、適切な関わり方を身に付ける。
	<学年末考査>	1	
	家庭学習	6	
	総 時 間 数	70	